



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日新

コード番号 9066 URL <http://www.nissin-tw.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 筒井 博

問合せ先責任者(役職名) 経理部長

(氏名) 石山 知直

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

TEL 03-3238-6631

平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	93,151	5.8	1,743	△14.0	1,961	△7.7	1,230	42.6
25年3月期第2四半期	88,070	△1.6	2,026	31.1	2,124	13.4	862	△16.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,983百万円 (466.2%) 25年3月期第2四半期 526百万円 (△19.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	12.47	—
25年3月期第2四半期	8.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	106,069	44,470	41.1
25年3月期	102,236	41,625	39.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 43,601百万円 25年3月期 40,830百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年3月期	—	3.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	194,000	10.7	4,100	19.8	4,200	18.0	2,500	36.2	25.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	101,363,846 株	25年3月期	101,363,846 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,601,074 株	25年3月期	2,797,617 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	98,685,723 株	25年3月期2Q	98,181,268 株

（注）期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式を含んでおります。
（26年3月期2Q 1,189,000株、25年3月期 1,392,000株）

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成したものであり、リスクや不確定要素を含んでおりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	
(セグメント情報等)	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日 以下「当第2四半期」）における世界経済は、米国経済が緩やかな回復を続け、欧州においても底入れの兆しが現れたものの、中国・アジア新興国では成長率が鈍化するなど、依然、先行き不透明感は払拭できませんでした。日本では、政府の金融・財政政策を背景に、景気は回復基調をたどりました。

このような状況下、当社グループは、海外23ヶ国に及ぶネットワークと高度なIT対応力を活かしたグローバル・ロジスティクスへの注力を加速させました。海外では中国・東南アジア・メキシコ等の成長地域を中心に事業機会の拡大に努めました。メキシコ、マレーシアでの自動車産業向けJIT（ジャストインタイム）納入倉庫の建設をはじめ、タイでの低温輸送サービスの拡充や東南アジアにおける大メコン圏広域物流網の整備、中国・インドでの事業体制の強化などを進めました。国内においては、新商品として東南アジア向けの食品専用冷凍海上輸送サービスを開始したほか、CMS（キャッシュマネジメントシステム）の利用拡大によるグループ資金の効率化に取り組みました。

当第2四半期は、米州、アジア、中国において、物流事業が引き続き順調に推移し収益に寄与しました。日本では、旅行事業は北米、アジア向け業務渡航を中心に順調に推移しましたが、物流事業は、日中関係緊張の影響等が残り、本格回復には至りませんでした。

これらの結果、当第2四半期における売上高は、前年同期比5.8%増の93,151百万円となりました。利益につきましては、営業利益は前年同期比14.0%減の1,743百万円、経常利益は前年同期比7.7%減の1,961百万円となり、四半期純利益は前年同期比42.6%増の1,230百万円となりました。

② セグメントの業績

イ. 物流事業

日本では、輸出海上貨物は、四輪完成車の取扱いは減少しましたが、海外での自動車生産の増産や移転に伴い、北米、アジア向けの自動車関連部品やメキシコ向け設備の取扱いは順調でした。輸入海上貨物は、製材・合板関係などの好調な取扱いが続いたほか、アパレル、雑貨、家具の取扱いが底堅く推移するなど、全般的に順調でした。

輸出航空貨物は、アジア、北米向け自動車関連部品の取扱いが好調だった以外は、電子部品・部材をはじめ全般的に低調な取扱いでしたが、業務効率化により収益の落ち込みを補いました。輸入航空貨物は、切花・球根やアパレルの取扱いは堅調でしたが、北米発の生鮮は産地天候不良などの影響により取扱いが伸び悩みました。国内輸送では、ソーラーパネルの配送業務が順調に推移しました。倉庫は、関西地区の各倉庫は高水準な稼働を続けたものの、関東地区においては一部倉庫で稼働率の低下が見られました。ターミナル事業は、日中貿易減少により回復が遅れました。

海外では、米州においては、自動車関連部品の取扱いが安定的に推移したのをはじめ、メキシコでの工場設備輸入・据付業務が収益に寄与するなど、堅調に推移しました。欧州では、家電関係の取扱い低迷が続いたことに加え、自動車関連部品の取扱いも落ち込み、事業の再構築に取り組んでおりますが、厳しい状況でした。アジアでは、自動車関連部品を中心に航空・海上輸出入の取扱いがともに順調に推移し、特にタイ、マレーシアにおいて収益が伸長しました。中国では、引き続き電子部品・部材の航空輸出入が堅調に推移したことに加え、自動車関連部品の取扱いが寄与するなど、収益を押し上げました。

この結果、売上高は前年同期比4.4%増の66,126百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比18.9%減の1,174百万円となりました。

ロ. 旅行事業

日中関係緊張の影響を受け、中国向けについては、業務渡航、団体旅行ともに伸び悩みましたが、北米、中米、アジア向け業務渡航の取扱いが順調だったことに加え、大型団体旅行の取扱いが収益に寄与しました。

この結果、売上高は前年同期比9.9%増の26,556百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比21.3%増の270百万円となりました。

ハ. 不動産事業

京浜地区などで展開する商業ビル、商業用地の不動産賃貸事業は引き続き安定した収益を確保しましたが、駐車場事業は低迷が続きました。

この結果、売上高は前年同期比17.5%減の468百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比17.4%減の290百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加や投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べ3,832百万円増加の106,069百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加や短期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ987百万円増加の61,598百万円となりました。

純資産は、株式市場価額の上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加や為替換算調整勘定の増加、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ2,845百万円増加の44,470百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,841百万円、減価償却費による資金留保1,452百万円等の資金の増加と、環境対策費の支払額316百万円、法人税等の支払額428百万円等の資金の減少により、2,256百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,183百万円等の資金の減少により、1,951百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額500百万円、長期借入れによる収入2,247百万円等の資金の増加と、長期借入金の返済による支出2,242百万円、社債の償還による支出600百万円、配当金の支払額345百万円等の資金の減少により、542百万円の支出となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、これらに現金及び現金同等物に係る換算差額を加え、前連結会計年度末に比べ232百万円の資金の増加となり、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は11,024百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、米州、アジア、中国において、自動車生産の増産に伴い、物流事業が順調に推移しましたが、日本では、日中関係緊張の影響等が残り、特に第1四半期において、ターミナル事業や関東地区での倉庫事業が低調に推移したことから、当初予想(平成25年5月8日発表の予想数値)を下回りました。

下半期は、米州、中国での自動車関連貨物の取扱いが引き続き順調に推移すると見込まれるほか、日本でのターミナル事業、関東地区倉庫事業も回復基調での推移が予想されるものの、第2四半期までの落ち込みを補うまでの業績伸長は見込めず、また、依然、先行き不透明感が続くものと予想されます。

これらにより、通期の業績予想につきまして、当初予想(平成25年5月8日発表の予想数値)を修正いたします。

平成26年3月期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成25年5月8日発表)	百万円 194,000	百万円 4,500	百万円 4,600	百万円 2,800	円 銭 28. 41
今回発表予想(B)	194,000	4,100	4,200	2,500	25. 37
増減額(B)-(A)	0	△400	△400	△300	
増減率(%)	0	△8.9	△8.7	△10.7	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	175,230	3,422	3,558	1,836	18. 67

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,929	11,665
受取手形及び売掛金	24,557	25,851
有価証券	87	87
原材料及び貯蔵品	66	75
その他	4,704	6,664
貸倒引当金	△235	△240
流動資産合計	41,109	44,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	49,708	50,140
減価償却累計額	△31,939	△32,817
建物及び構築物 (純額)	17,768	17,323
機械装置及び運搬具	11,699	11,990
減価償却累計額	△9,183	△9,485
機械装置及び運搬具 (純額)	2,515	2,505
土地	16,573	16,704
その他	3,915	4,275
減価償却累計額	△2,543	△2,712
その他 (純額)	1,371	1,562
有形固定資産合計	38,229	38,096
無形固定資産		
のれん	630	509
その他	1,971	1,850
無形固定資産合計	2,601	2,359
投資その他の資産		
投資有価証券	14,185	15,500
その他	6,826	6,996
貸倒引当金	△569	△841
投資損失引当金	△147	△147
投資その他の資産合計	20,295	21,507
固定資産合計	61,126	61,963
資産合計	102,236	106,069

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11, 180	11, 515
短期借入金	11, 965	12, 398
1年内償還予定の社債	700	150
未払法人税等	510	1, 064
賞与引当金	1, 587	1, 904
役員賞与引当金	—	10
その他	6, 405	6, 001
流動負債合計	32, 348	33, 042
固定負債		
社債	1, 100	1, 050
長期借入金	20, 171	20, 266
退職給付引当金	1, 290	1, 367
役員退職慰労引当金	131	110
その他	5, 568	5, 761
固定負債合計	28, 262	28, 555
負債合計	60, 611	61, 598
純資産の部		
株主資本		
資本金	6, 097	6, 097
資本剰余金	4, 365	4, 378
利益剰余金	29, 479	30, 530
自己株式	△590	△549
株主資本合計	39, 351	40, 457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3, 334	3, 946
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△1, 855	△802
その他の包括利益累計額合計	1, 478	3, 144
少数株主持分	794	869
純資産合計	41, 625	44, 470
負債純資産合計	102, 236	106, 069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	88,070	93,151
売上原価	74,846	79,231
売上総利益	13,224	13,919
販売費及び一般管理費	11,198	12,176
営業利益	2,026	1,743
営業外収益		
受取利息	20	32
受取配当金	141	160
持分法による投資利益	116	168
為替差益	42	116
その他	123	262
営業外収益合計	444	740
営業外費用		
支払利息	248	224
貸倒引当金繰入額	—	281
その他	97	16
営業外費用合計	346	522
経常利益	2,124	1,961
特別利益		
固定資産売却益	11	13
特別利益合計	11	13
特別損失		
環境対策費	405	104
固定資産除却損	10	12
投資有価証券評価損	379	10
固定資産売却損	—	7
特別損失合計	795	134
税金等調整前四半期純利益	1,340	1,841
法人税、住民税及び事業税	573	1,069
法人税等調整額	△166	△522
法人税等合計	406	547
少数株主損益調整前四半期純利益	934	1,293
少数株主利益	71	63
四半期純利益	862	1,230

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	934	1,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△545	613
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	127	985
持分法適用会社に対する持分相当額	10	91
その他の包括利益合計	△407	1,689
四半期包括利益	526	2,983
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	452	2,895
少数株主に係る四半期包括利益	74	88

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,340	1,841
減価償却費	1,483	1,452
環境対策費	405	104
のれん償却額	35	70
固定資産売却損益 (△は益)	△11	△6
固定資産除却損	10	12
投資有価証券評価損益 (△は益)	379	10
持分法による投資損益 (△は益)	△116	△168
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△57	264
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△12	△21
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10	10
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△36	57
受取利息及び受取配当金	△162	△192
支払利息	248	224
売上債権の増減額 (△は増加)	177	△404
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△30	△356
仕入債務の増減額 (△は減少)	△385	△101
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△87	74
その他	150	146
小計	3,320	3,018
利息及び配当金の受取額	233	217
利息の支払額	△244	△234
環境対策費の支払額	—	△316
法人税等の支払額	△1,026	△428
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,283	2,256
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,238	△1,183
有形固定資産の売却による収入	16	19
無形固定資産の取得による支出	△97	△150
投資有価証券の取得による支出	△218	△24
投資有価証券の売却による収入	—	34
子会社の清算による収入	41	—
関係会社株式の取得による支出	—	△6
貸付けによる支出	△298	△57
貸付金の回収による収入	210	33
その他	△793	△616
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,379	△1,951

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,601	500
長期借入れによる収入	1,900	2,247
長期借入金の返済による支出	△1,871	△2,242
社債の償還による支出	△100	△600
配当金の支払額	△344	△345
自己株式の取得による支出	△0	△1
自己株式の売却による収入	—	55
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△108	△154
その他	53	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,129	△542
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	470
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,058	232
現金及び現金同等物の期首残高	8,442	10,791
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,501	11,024

（４） 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	物流事業	旅行事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	63,333	24,168	567	88,070	—	88,070
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	86	234	328	△328	—
計	63,341	24,255	801	88,399	△328	88,070
セグメント利益	1,448	222	351	2,022	3	2,026

（注） 1. セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	物流事業	旅行事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	66,126	26,556	468	93,151	—	93,151
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	95	161	262	△262	—
計	66,132	26,651	630	93,413	△262	93,151
セグメント利益	1,174	270	290	1,734	8	1,743

（注） 1. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。